

山崎

平成 24 年
生神金光大神大祭号

vol. 112

2012. 10. 14

金光教山崎教会 / 発行

649-6235 和歌山県岩出市西野 234

電話 0736 (62) 1106

ファックス 0736 (63) 2043

ホームページ konko.pos.to/

フェイスブック

[facebook.com/Konkokyo.Yamasaki/](https://www.facebook.com/Konkokyo.Yamasaki/)

メール konko@pos.to

お礼と喜びのご大祭を迎えて

教会長 明渡真幸

教祖様が神様からの最後のお知らせを「人民のため、大願の氏子助けるため、身代わりに神がさする、金光大神ひれいのため」といただき、明治 16 年 (1883) 10 月 10 日、70 才 (数え年) をもってお隠れになってから 129 年。永世^{えいせい}生き通しの取次の神、生神金光大神となられたそのお働きをもって、今日の私共が、教祖さまの時代と同じように、取次を願い頂く中でおかげを受けることが出来るのは、まことに勿体なく畏れ多いことでもあります。

教祖様以来、途切れること無く伝承される「生神金光大神取次の道」に、私共が日々生かされてあるお礼を申し上げるのが、本日のご大祭の要であります。

そのお礼を土台にして、ここからの各自のお礼とお願い、またお断りを明らかにして、更に取次を願い頂くことが日々の信心生活の基本であります。

さて、来年は教祖 130 年を迎え、また再来年^{さらいねん}は教祖様ご生誕 200 年を迎えます。お道ではご生誕記念というお祝いは余りなされませんが、一教の教祖さまの誕生 200 年というのは、大きな節目でお祝いの年であります。更に私共山崎教会にとりましては、教祖様ご生誕からちょうど 50 年後にお生れになった初代コトメ親先生ですので、初代生誕 150 年の年となるわけです。尚も申しますと、再来年は孝一親先生 30 年の年でもあります。来年、再来年と迎えるお年柄に向けて、共々に一段一段、元気にご信心の歩みを進めて、おかげを蒙らせていただきます。

当地では本年も大きな災害もなく、無事に稔りの秋を迎えさせていただきました。秋の野山、海川の収穫をお供えさせていただきました、本日の生神金光大神大祭をお仕えさせて頂き神様、金光様にお礼申し上げます。

世の中は相も変わらず難儀な様相を呈しています。むろん私共もその世の中に生活をしているわけですから、政治、社会、経済、福祉、教育、・・・様々な場面で、同様な難儀に出会うわけです。

しかし、信心して生きるありがたさは、そこから始まります。「難あってありがたし、今みかげを！」という受け止め方が出来る。「運命を愛し、運命を生かす」生き方が出来る。「神様は無駄ごとはなされない」というように、信じるものがある強さ、を頂いている。「昨日を忘れ、今日を喜び、明日を楽しむ」プラス思考でくじけずに行ける・・・。

これが信心無ければ、難儀に押しつぶされ、運命を呪い恨み、神も仏もあるものか、過ぎたことをクヨクヨ思い、不足と腹立ち、明日を心配することになってしまうのですから、大きな違いです。

今の時代は、夢と希望を持つことの出来がたい情報ばかりが先行しがちであります。そういう中であって、私どもは「我、神と共にあり」という信念を持って、元気な心で、お礼と喜びの信心を進めて参りましょう。

そしてそれ以上に「神人あいよかけよの生活運動」に願われてある如く、神心となって、人を祈り、助け、導き、天地の親神様が、いよいよの願いとされている「神人あいよかけよで立ち行く世界」を敢然と現して参りましょう。

和歌山親教会
生神金光大神大祭
10月21日(日) 午後一時半



金光大神大祭をお迎えして

信徒会長 竹田昌平

天地の親神さまのおかげの実りの秋を頂き、皆様方と共に元気にありがたく生神金光大神大祭をお迎えさせていただきますことを、心よりお喜び申し上げます。

さて、教団にありましては、今年初めから「神人あいよかけよの生活運動」がスタートし、先日9月2日に開催された、湯浅城での紀北信徒集会で、金光教大阪センター長 西川良典先生が、運動について実例をあげて、内容の頂き方をわかりやすくご教話くださいました。運動の「願い」の中で特に大切な部分として、最初の2行の「御取次を願い頂き 神のおかげにめざめ」について、3つの実例を示してお話してくださいました。

呉服屋の行商をされていた方が、商売がうまく行かずたくさんさんの借金を抱え倒産寸前のところを、お取次を願い、頂かれ、「根っこを粗末にしている」ことを教えられて、母への不幸、御霊様へのご無礼を改まり、どのようにしたら神様が喜びになるかを考えるところから助かって行かれた。

材木商の方は家族の病気回復と、孫が出来ることをお取次願われた際に、家業である材木の商売でどれだけ天地の親神さまのお働き、御恩を頂いてきてここまでやって来れているかを考えたことがあるのかと諭され、天地の親神様のお働きに土下座する気持ちで徹底してお礼を申して行くことによっておかげを頂かれた。

乳がんにかかれた未信奉者の方は、親神様のお働き、教祖様のご信心を聞かせていただき、お取次を頂いて、親神様、金光様にすべておまかせする心になることの大切さを教えて頂き、助かって行かれた。といった、すばらしい、ありがたいご教話を頂かせていただきました。まさに西川先生が信心を始められたころから頂いて来られた「信心は恩を知り、恩に報いる」ことであり、「御取次を願い頂き、神様のおかげにめざめる」ことそのものであり、信心の根っここのところを示してくださいました。西川先生には本当にすばらしいご教話をありがとうございました。

本日のご大祭をしっかりと頂き、ここからよりいっそう「神人あいよかけよの生活運動」を進展

させていただき、ご用にお使い頂きたいと願ひしつつご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

神人あいよかけよの生活運動
願ひ
御取次を願ひ頂き
神のおかげにめざめ
お礼と喜びの生活をすすめ
神心となつて人を祈り助け導き
神人の道を現そう

ご本部参拝記

— 新幹線団体参拝を利用して —

教会長雑記

10月7日(日) ご本部の「生神金光大神大祭」第3日の祭典に参拝させていただきました。今回は大阪センターで設定された「金光教新幹線団体参拝」に加わってのお参りです。

朝7時過ぎに教会お広前で出発のお届けと御祈念を頂き、教会長と信徒会長の車に分乗して新大阪まで向かいます。教会を7時20分に出て、途中岸和田SAでトイレ休憩、新大阪駅には8時40分頃到着しました。車は新大阪駅近くの駐車場へ。日曜祝日は一日1,500円で預かってくれる、新御堂下の駐車場です。

新幹線は9時15分発、8両編成すべて貸し切りで、総勢600



名のお参りです。すべて指定席で、私たちは4号車の最後部、10人まとまって坐ります。途中追い越し待ちで駅で停車することがありますが、新倉敷まで行ってくれるのがいいですね。新倉敷に10時34分到着、私たちの座席位置が、乗り降りには一番、更に駅の階段近くなので、スムーズに乗り換えて、予定より2つ早い在来線に乗ることが出来ました。車中、鉄道マニアの中学生の男の子が、しきりと話しかけてきて、この車両の話をしてくれます。ビデオカメラと三脚を持って、電車を撮影して回っているようです。きょうは金光教参拝の臨時列車がたくさん入るということで、随分興奮気味です。新倉敷～金光は一駅ですから、あっという間に金光駅に到着。まだ11時前です。駅には参拝者歓迎の小旗が飾られ、駅係りのご用奉仕の方が出迎えてくれます。駅北出口を出て、昼食場所の



土佐屋旅館へ。昼食はおすまし付きのお弁当です。おいしくいただいて、さあお参りです。ご本部正門前にはたくさんの屋台が出て、食べ物や植木やおみやげやつなみを売っています。大きな八波の御紋のはためく下、正門をくぐり、手水場で口と手をすすぎ、受付へ。学院修行中のまゆみは受付係の御用を頂いていました。お広前で金光様にお届け、日々の御祈念御取次にお礼申し上げ、ご大祭にお引き寄せ頂いたお礼と、共々に今日の御比礼を頂くことをお願い申し上げ、また教会 14 日のご大祭のお届けを申し上げました。御神米をお下げ頂き、ご神前、ご霊前で参拝者共に心中祈念をさせていただき奥城参拝へ。清々しい秋空、本当に良いお天気に恵まれて、ありがたいお参りです。立教聖場、教祖奥城、歴代金光様奥城とお参り御祈念させて頂き、祭場に降りてきたのは 1 時

10 分前でした。既に祭場は 1 階ほぼ満席、後の方になりましたが、一同揃って坐らせて頂きました。1 時から天満教会森田先生の祭典前の教話「起こる事 皆良し」を聞かせていただきました。先生のお話に出てくる西宮教会のお祖父様は私共の先代孝一親先生とご親友で、孝一先生が話されていたことを懐かしく思い出しつつ聞かせていただきました。1 時半、奏楽の調べと共に祭員入場です。教主金光様もお元気にご祭主をお勤め下さいました。西の



庄教会長先生が先唱役の御用を務められ、朗々たるお声で先唱して下さいました。金光様はご祭詞にて、天地金乃神様、生神金光大神様に私共のお礼お願いをお取り次ぎ下さいました。教務総長のあいさつ、最後は「親神のよごしのままに」を斉唱して、ご祭事は滞りなく仕えられました。祭典後は吉備舞。

実は 10 月 6 日、金光祺正先生すけまさ（佐藤満雄先生の義兄）がご帰幽されまして、夕刻より終祭ということになっていましたので、教主金光様宅にお礼のお届けの後、金光ご本家にご挨拶に上がらせていただきました。祺正先生はまことに穏やかで静かなご最期であられたそうです。

さて、帰路は金光 15:49 発、新倉敷で乗り換えて 16:19 発の新幹線です。行きと同じ 4 号車、今度は最前部になります。往路より随分早く、1 時間で 17:21 新大阪に到着しました。なお、この全車貸し切りの団体参拝には車内販売がありません。許されるなら、私共で車内販売させていただいて、青年会・少年少女会育成資金を得るというのは？

さて、駐車場から車で出発、岸和田 S A で一緒に夕食を頂き、教会には予定通り午後 8 時に到着しました。

このように、新幹線の団体参拝が、春秋のご大祭は全車貸し切りという形で設定していただけて、本当に楽に、また安価にお参りできるのはありがたいことです。ちなみに運賃は往復で 6,500 円。岩出〜ご本部まで、自分で行くと、「くろしお」利用で片道だけで 8,780 円、新大阪〜金光（いずれも岡山乗り換え）でも片道 6,690 円だから、この団体参拝のいかにお得かがわかります。安価に行ける分だけ、御用させていただかなければね。

なお、土佐屋の昼食代が 700 円ですので、車諸費用補助も含めて、ひとり 8,000 円でのお参りとさせて頂いていただいております。

駅の乗り換え、階段のことを心配される方がありますが、大阪、岡山、新倉敷、金光すべてエレベーターが設備されていますのでご安心下さい。

ただ、難をいうと、参拝申込確定数が 40 日ぐらい前に締め切られるということで、早い目の予定を立てて申し込んでいただかなければなりません。ちなみに、12 月の年末お礼を兼ねての報徳祭参拝時には、100 人設定の新幹線団体参拝が設定されていますが、申込み切りは 10 月末です。

これも考えようで、早くから「是非に！」と願いを立てて、ご霊地参拝のおかげを頂くと考えさせていただいて、これからはしばらくはこの新幹線団体のご本部参拝を利用したいと思います。

何より、ご本部参拝は、日々休み無く御祈念御取次をお仕え下さり、私共のおかげをいただく元のところをご用下さっておられる教主金光様へのお礼のお参りであり、教祖さまのご霊徳あふれるご霊地へお引き寄せ頂くという、信心させていただく者にとりまして、何よりありがたいことでもあります。

そうして教務作用でこのように色々とお世話していただいておりますので、一人でも多くお繰り合わせを頂いて、ご本部参拝のおかげを頂いて参りたいものです。

新年参拝、春・秋のご大祭、6 月の教団独立記念祭、12 月の報徳祭と、年間 5 回の新幹線団体参拝の機会がありますので、まずは年に 1 度か 2 度、他の旅行に代えて、ありがたいご本部参拝をさせていただきませんか？

ご本部「報徳祭」新幹線参拝（年末お礼参拝）

12月9日（日） ひかり（行き）と のぞみ（帰り）で団体参拝

教会ご祈念6時半 教会帰着 8時頃

費用 JR運賃 教会～新大阪は乗用車に分乗 昼食（土佐屋）

以上で 8,000円（こども 4,000円） 片道のみも可

<夕食は岸和田 SA にて各自>



申込締め切り日に注意！！ 10月26日（金）までに代金を添えて申し込んで下さい。

10月30日以降は、キャンセル出来ません。

関西福祉大学（赤穂市）紹介

「金光教の教義に基づく建学の精神に則り設置された金光教に縁ある大学」として平成9年に設立された大学校です。「社会福祉学部（社会福祉専攻・子ども福祉専攻）」「看護学部」があります。社会福祉学部は生活に課題を抱えている人を、看護学部は健康に課題を抱えている人を、どちらも人を対象として支援し、幸福にする学問、研究を目的としています。

社会福祉学部のAO入試は終わっていますが、まだ何度も受験の機会があります。教会に2013年度入試ガイドはじめ、大学資料が届いていますので、関心のある方はおっしゃって下さい。オープンキャンパスも10月27・28日とあります。

関西福祉大学入試センター TEL 0791-46-2500 直接連絡の際は教会名を伝えて下さい。



月例祭のお知らせ

10月22日（月）

11月2日（金）・10日（土）・21日（水）

いずれも 午後1時半～

青年会&さなえ会

11月10日（土）午後7時半

ラシーヌにて会食

12月16日（日）

午前10時半～

ボウリング大会（紀の川ボウル）

12時半～ 忘年会（教会会館）



きょうも一日本当によくがんばりました。おかげをいただくあなたに、神様も霊様も拍手を贈ってくれています。これからもまことの信心をすすめさせていただきます。